

大石ウメノさん 99歳(白寿)おめでとうございます

2月28日、田沢湖梅沢字東田の大石ウメノさんが満99歳の白寿を迎えられ、石黒市長と市関係者が長寿のお祝いに駆けつけました。

石黒市長がお祝い金と花束を手渡すと、ウメノさんはしっかりと口調でお礼を述べるなどとても元気でした。

健康の秘訣を訪ねると「食事は家族と同じものを食べるが、決してたくさん食べることはない。肉や魚よりも山菜やキノコ、野菜が好き」ということでした。また、2、3年前までは一人で山へ行き山菜やキノコを採っていたそうです。いつまでも元気で、長生きしてください。



とても元気なウメノさん、石黒市長と一緒に記念写真

ひな祭りにお茶を楽しむ だしのこ園でお茶会

3月3日のひな祭りに、玉川遠州流の畠山社中の方々が、子どもたちにお茶を楽しんでもらいたいと、だしのこ園を訪れ、お茶会を開催しました。



子どもたちはお行儀よく正座し、玉川遠州流の千葉生子さんに作法を習いながら、お茶菓子とお茶をいただきました。お茶をもらうときには全員が丁寧におじぎをして、とても立派でした。子どもたちに感想を聞くと、みんな「おいしかった」と、元気に答えていました。



保健推進員・結核予防婦人会研修会 講演『あきらめないで尿失禁』

保健推進員及び結核予防婦人会研修会が、3月1日、就業改善センターで行われ、保健推進員など約60人が参加しました。

研修会では、平成18年度健診対象者調べの配布と回収の説明やお願いがあり、引き続き、西明寺診療所の市川晋一所長から『あきらめないで尿失禁』という演題で、スクリーンを使って講演が行われました。

講演では、「尿もれは誰にでも起こることだが、予防も治療もできるので前向きに生活して欲しい。どんな名医でも、診ないことには、どうにもならないので早めに診察を受けて欲しい」など、市川所長がこれまで経験し勉強してきた内容の楽しい講演で、参加者も笑顔で聞き入っていました。



仙北市健康市民のつどいⅡ ～国民健康保険保健事業～

3月3日、「仙北市健康市民のつどいⅡ」健康づくり講演会が角館樺細工伝承館を会場に開催され約100人が参加しました。

AKT秋田テレビのニュースキャスターとして活躍された塩田耕一氏を講師に迎え、「民謡こぼれ話とことばの大切さ」と題した講演で、13年にわたり民謡番組を担当した塩田氏は、民謡は物流、人の交流により全国に広がり、その土地の風土、人間性により育み今の民謡があるという興味深い話をされました。また、大きな声を出すことにより、自信につながり、健康にもつながることなど、ことばの大切さ、声を出す大切さを訴えていました。



ことばにもちょっとした気遣いが必要と話す塩田氏